

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 4 日(2022.8.4)

【公開番号】特開 2020-185164(P2020-185164A)

【公開日】令和 2 年 11 月 19 日(2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報 2020-047

【出願番号】特願 2019-91467(P2019-91467)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 27 日(2022.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、  
前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、  
通常区間と有利区間に制御可能な区間制御手段と、  
前記有利区間において複数の状態に制御可能な状態制御手段と、  
を備え、  
前記状態制御手段は、  
前記有利区間の開始に伴い通常状態に制御し、  
前記通常状態において特定条件が成立したときに特定状態に制御し、  
前記特定状態の終了後、前記有利区間を終了させ、再度前記有利区間を開始させて前記通常状態に制御する第 1 制御と、前記特定状態の終了後、前記有利区間が継続されたまま、前記通常状態に制御する第 2 制御と、を行うことが可能であり、  
前記第 2 制御により制御された通常状態は、前記第 1 制御により制御された通常状態よりも、前記特定条件が成立しやすく、  
前記状態制御手段は、前記特定状態において遊技者が獲得した遊技価値の量にもとづいて、前記第 1 制御を行うか、前記第 2 制御を行うか、の決定割合を異ならせる、スロットマシン。

30

【請求項 2】

40

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、  
前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、  
通常区間と有利区間に制御可能な区間制御手段と、  
前記有利区間において複数の状態に制御可能な状態制御手段と、  
を備え、  
前記状態制御手段は、  
前記有利区間の開始に伴い通常状態に制御し、  
前記通常状態において特定条件が成立したときに特定状態に制御し、  
前記特定状態の終了後、前記有利区間を終了させ、再度前記有利区間を開始させて前記

50

通常状態に制御する第1制御と、前記特定状態の終了後、前記有利区間が継続されたまま、前記通常状態に制御する第2制御と、を行うことが可能であり、

前記第2制御により制御された通常状態から制御される特定状態は、前記第1制御により制御された通常状態から制御される特定状態よりも有利となり、

前記状態制御手段は、前記特定状態において遊技者が獲得した遊技価値の量にもとづいて、前記第1制御を行うか、前記第2制御を行うか、の決定割合を異ならせる、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

通常区間と有利区間に制御可能な区間制御手段と、

前記有利区間において複数の状態に制御可能な状態制御手段と、

を備え、

20

前記状態制御手段は、

前記有利区間の開始に伴い通常状態に制御し、

前記通常状態において特定条件が成立したときに特定状態に制御し、

前記特定状態の終了後、前記有利区間を終了させ、再度前記有利区間を開始させて前記通常状態に制御する第1制御と、前記特定状態の終了後、前記有利区間が継続されたまま、前記通常状態に制御する第2制御と、を行うことが可能であり、

前記第2制御により制御された通常状態は、前記第1制御により制御された通常状態よりも、前記特定条件が成立しやすく、

前記状態制御手段は、前記特定状態において遊技者が獲得した遊技価値の量にもとづいて、前記第1制御を行うか、前記第2制御を行うか、の決定割合を異ならせる、

30

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定状態の終了後、有利区間を終了させ、再度有利区間に移行させて通常状態に制御するだけでなく、特定状態の終了後、有利区間を継続した状態で通常状態に制御することもあるため、遊技の流れに変化を持たせることができる。

また、第2制御により有利区間が継続されたまま制御された通常状態では、第1制御により再度有利区間が開始したことに伴い制御された通常状態よりも特定条件が成立しやすいため、特定状態の後、有利区間が継続されたまま通常状態に制御されることによる興趣を高めることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

通常区間と有利区間に制御可能な区間制御手段と、

前記有利区間において複数の状態に制御可能な状態制御手段と、

50

を備え、

前記状態制御手段は、

前記有利区間の開始に伴い通常状態に制御し、

前記通常状態において特定条件が成立したときに特定状態に制御し、

前記特定状態の終了後、前記有利区間を終了させ、再度前記有利区間を開始させて前記通常状態に制御する第1制御と、前記特定状態の終了後、前記有利区間が継続されたまま、前記通常状態に制御する第2制御と、を行うことが可能であり、

前記第2制御により制御された通常状態から制御される特定状態は、前記第1制御により制御された通常状態から制御される特定状態よりも有利となり、

前記状態制御手段は、前記特定状態において遊技者が獲得した遊技価値の量にもとづいて、前記第1制御を行うか、前記第2制御を行うか、の決定割合を異ならせる、 10

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定状態の終了後、有利区間を終了させ、再度有利区間に移行させて通常状態に制御するだけでなく、特定状態の終了後、有利区間を継続した状態で通常状態に制御することもあるため、遊技の流れに変化を持たせることができる。

また、第2制御により有利区間が継続されたまま制御された通常状態から制御される特定状態は、有利区間の開始に伴い制御された通常状態から制御される特定状態よりも有利となるため、特定状態の後、有利区間が継続されたまま通常状態に制御されることによる興趣を高めることができる。

20

30

40

50